

2017年度 和泉短期大学

授業科目名	保育内容「環境」	教員氏名	松山 洋平
学年	1年		
授業形態	演習	開講学期	前期
必修・選択	保育士必修・幼免必修	単位数	1単位
テーマ	子どもを取り巻く環境について考え、環境を通して行う保育について学ぶ		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境について様々な資料を通して学び、子どもにとってふさわしい環境について学ぶ ・子どもの育ちと、年齢に応じた環境への関わりを理解し、保育環境の構成や保育者の役割について学ぶ ・実際に自然や身の回りにある素材を用いた遊びを体験することを通して、子どもが環境にかかわって遊ぶことの意味を知る 		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容「環境」のねらいと内容を理解し、子どもを取り巻く環境(人的、物的、自然、社会、文化など)について関心をもつ ・環境にかかわりながら遊ぶ子どもたちの育ちを支える保育者の役割を知る ・学生自身が自然など身近な環境、素材(教材)などにふれ、遊ぶことによって、環境構成の大切さを知る 		
テキスト	酒井幸子 守巧 編著『保育内容 環境 あなたならどうしますか』萌文書林 厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館 文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館		
参考書	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	授業内容から学び得た知識をもとに乳幼児期にふさわしい環境についてまとめておく ・Google Classroomでの課題については第1回に説明する		
成績評価方法	小テスト・提出課題70%、授業態度と意欲30% 授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、ワークシートの作成も含む		
授 業 概 要 と 課 題			
第1回	テーマ内容	オリエンテーション	
	授業外指示	〈予習〉シラバスを読む	
第2回	テーマ内容	環境を通して行う保育とは	
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉幼稚園教育要領第1章を読む	
第3回	テーマ内容	幼稚園教育要領と保育所保育指針にみる保育内容としての環境	
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉保育所保育指針第1章を読む	
第4回	テーマ内容	園での生活と領域「環境」	
	授業外指示	〈予習〉テキスト第1章を読む 〈復習〉子どもウォッチングをする	

第5回	テーマ 内容	身近な環境とかがわるために
	授業外指示	〈予習〉テキスト第2章を読 〈復習〉子どもの身近な環境について考える
第6回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(1) 自然環境
	授業外指示	〈予習〉子どもの身近な自然環境について考える 〈復習〉課題に取り組む
第7回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(2) 保育室内の環境
	授業外指示	〈予習〉保育所保育指針第2章を読む 〈復習〉テキスト第2章を読む
第8回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(3) さまざまな物や道具とのかかわり
	授業外指示	〈予習〉子どもの身近な道具について考える 〈復習〉配付プリントについて復習する
第9回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(4) 園庭の環境
	授業外指示	〈予習〉子どもの外遊びについて考える 〈復習〉配付プリントについて復習する
第10回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(5) 季節の変化・行事
	授業外指示	〈予習〉年間行事とその意味について考える 〈復習〉配付プリントについて復習する
第11回	テーマ 内容	身近な環境とのかかわり(6) 生き物とのかかわり
	授業外指示	〈予習〉子どもの身近な生き物について考える 〈復習〉配付プリントについて復習する
第12回	テーマ 内容	保育内容「環境」に関連する模擬指導案作成
	授業外指示	〈予習〉配付課題について必要資料をそろえる 〈復習〉配付プリントについて復習する
第13回	テーマ 内容	環境へのかかわりを支える保育者の役割
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉テキストの該当箇所を読む
第14回	テーマ 内容	子どもを取り巻く「環境」の実践的課題
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉テキストの該当箇所を読む
第15回	テーマ 内容	まとめこれまでの学びを振り返る
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉これまでの学びをポートフォリオにまとめる

2017年度 和泉短期大学

授業科目名	保育内容「環境」	教員氏名	生沼 晴美
学年	1年		
授業形態	演習	開講学期	前期
必修・選択	保育士必修・幼免必修	単位数	1単位
テーマ	子どもを取り巻く環境について考え、環境を通して行う保育について学ぶ		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境について様々な資料を通して学び、子どもにとってふさわしい環境について学ぶ ・子どもの育ちと、年齢に応じた環境への関わりを理解し、保育環境の構成や保育者の役割について学ぶ ・実際に自然や身の回りにある素材を用いた遊びを体験することを通して、子どもが環境にかかわって遊ぶことの意味を知る 		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容「環境」のねらいと内容を理解し、子どもを取り巻く環境(人的、物的、自然、社会、文化など)について関心をもつ ・環境にかかわりながら遊ぶ子どもたちの育ちを支える保育者の役割を知る ・学生自身が自然など身近な環境、素材(教材)などにふれ、遊ぶことによって、環境構成の大切さを知る 		
テキスト	浅見均編著『子どもの育ちを支える 子どもと環境』第2版発行一部改訂 大学図書出版		
参考書	倉橋惣三著『育ての心(上)』(倉橋惣三文庫3) フレーベル館 *その他、授業の中で紹介します 授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	なし		
成績評価方法	授業内レポート 30% 個人またはグループでの課題への取り組み 20% 最終課題レポート 50%		
授 業 概 要 と 課 題			
第1回	テーマ内容	ガイダンス 授業の進め方などを説明し、環境について考える	
	授業外指示	授業の概要を確認し、自分の身の回りの環境に関心をもつ 次回の授業内容について事前学習をする。	
第2回	テーマ内容	保育内容「環境」とは 領域「環境」のねらいや内容を知る	
	授業外指示	テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る	
第3回	テーマ内容	子どもの育ちと領域「環境」① 子どもの発達と環境について知る	
	授業外指示	子どもの成長発達過程を確認する テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る	
第4回	テーマ内容	子どもの育ちと領域「環境」② 子どもの発達と領域「環境」の内容を理解する	
	授業外指示	子どもの成長発達過程と環境とのかかわりを確認する テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る	

第5回	テーマ 内容	身近な自然と子ども① 身近な自然にかかわることの大切さを知る
	授業外指示	子どもたちを取り巻く社会状況や身の回りの環境に関心を持ち、学習した内容を振り返る
第6回	テーマ 内容	身近な自然と子ども② 身近な自然に触れる(公園や大学構内で)
	授業外指示	公園や大学構内にある草木や花の名前を調べる 学習した内容を振り返る
第7回	テーマ 内容	身近な自然と子ども③ 身近な自然を様々な素材で表現する(壁面構成)
	授業外指示	壁面構成について調べる 学習した内容を振り返り、様々な壁面構成のしかたを確認する
第8回	テーマ 内容	身近な自然と子ども④ 身近な自然と子どもの遊びについて考える
	授業外指示	自然にかかわる遊びに関心に向け、調べる テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る
第9回	テーマ 内容	身近なもの子ども① 身近なものにかかわることの大切さを知る
	授業外指示	身の回りにある「物」に関心に向け、子どもの遊びに利用できるものを確認する テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る
第10回	テーマ 内容	身近なもの子ども② 身近なもの子どもの遊びについて考える
	授業外指示	遊びに利用できる身近な「物」と遊具について調べる テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る
第11回	テーマ 内容	身近なもの子ども③ 自分たちの作ったもので遊び、子どもの遊びについて考える
	授業外指示	自ら遊びを作り出す経験から感じたことをまとめる 学習した内容を振り返る
第12回	テーマ 内容	保育環境と環境構成 保育環境について学び、環境構成を考える
	授業外指示	テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る
第13回	テーマ 内容	領域「環境」と保育の実践 安全・安心で充実した子どもの生活と遊びについて考える
	授業外指示	テキストや配布資料に基づき、学習した内容を振り返る
第14回	テーマ 内容	遊びと保育者の役割 保育者の存在や保育者の果たす役割について学ぶ
	授業外指示	保育環境と保育者の援助について、配布資料やテキストに基づき、これまで学習した内容をまとめる
第15回	テーマ 内容	「環境」のまとめ 子どもにとってふさわしい環境について確認する
	授業外指示	保育内容「環境」の授業を通して、子どもの育ちを支える環境について総括する

2017年度 和泉短期大学

授業科目名	保育内容「環境」	教員氏名	中島 宏昭
学年	1年		
授業形態	演習	開講学期	前期 / 後期
必修・選択	保育士必修・幼免必修	単位数	1単位
テーマ	生物の一種である人が必要とする環境に関心をもち、特に生きものに関する知識やそのいのちの大切さを学ぶ		
授業の概要	「野外にでて、自然を感じる、土に触れる」方針で演習を進める 具体的には、身近な植物、昆虫などの生きものの観察を行うとともに、畑でのサツマイモづくりを通して、生きもの大切さを体験的に学ぶ そのため、野外で活動できる服装、運動靴で出席すること 雨天時には、室内で講義を行うようにするが、原則として小雨決行のため、雨具の準備をすること 天候や進捗に応じて授業内容が前後することがある		
授業の到達目標	幼児期に触れる環境(原風景)は、その後の青少年期、成人期だけでなく、熟年期、老年期まで影響を及ぼすその環境づくりや環境(自然)に意識をもつことの重要性を体験を通して学ぶ 生きもの、特に植物を観察しながら、各人がもっている触、聴、嗅、視、味の五感を呼び起こすとともに、自然やいのちの奥深さ、不思議さを体験する		
テキスト	野外でメモをとるための、SKETCH BOOK(KOKUYO セ-Y3)を準備すること(毎回持参)		
参考書	進士五十八著『グリーン・エコライフ』(小学館)		
ポートフォリオ	なし		
成績評価方法	授業内レポート30%、授業外レポート30%、演習(出席)40%を目安に評価する 授業内レポート、および授業外レポートは、植物や動物(昆虫)の観察スケッチや記録による(SKETCH BOOK) 出席数は、大学の規定に従う		

授業概要と課題

第1回	テーマ内容	ガイダンス:演習の準備, 授業の進め方について
	授業外指示	シラバスを確認しておく
第2回	テーマ内容	土に触れる:土に触れ, 土の性質を学ぶ
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席
第3回	テーマ内容	土を耕す:土を耕してみる
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席
第4回	テーマ内容	土を耕す:土を耕し, 施肥を行う
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席

第 5 回	テーマ 内容	草本に触れる：植物の種子を播く, または苗を植える
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席
第 6 回	テーマ 内容	草本に触れる：草本植物のうちの特に雑草について学ぶ
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席
第 7 回	テーマ 内容	草本に触れる：畑にでる雑草を観察しながら除草する
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席
第 8 回	テーマ 内容	草本に触れる：畑にでる雑草を観察しながら除草する
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席
第 9 回	テーマ 内容	道具に触れる：雑草の刈取りを行い, 道具に触れる
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席
第 10 回	テーマ 内容	道具に触れる：道具の管理の重要性と方法を学ぶ
	授業外指示	野外で活動できる服装, 運動靴で出席
第 11 回	テーマ 内容	樹木に触れる：公園や園庭に多い樹木を観察する
	授業外指示	野帳 (SKETCH BOOK) の持参
第 12 回	テーマ 内容	樹木に触れる：公園や園庭に多い樹木を覚える
	授業外指示	野帳 (SKETCH BOOK) の持参
第 13 回	テーマ 内容	樹木に触れる：公園や園庭に多い樹木をスケッチする
	授業外指示	野帳 (SKETCH BOOK) の持参
第 14 回	テーマ 内容	まとめ：野帳 (SKETCH BOOK) の提出
	授業外指示	野帳 (SKETCH BOOK) の持参
第 15 回	テーマ 内容	復習：授業の復習 課題返却
	授業外指示	